



新町小 太鼓クラブも熱演

ゆり北

第195号(18期第5号)

発行・光が丘パークタウン

ゆりの木北自治会

東京都板橋区赤塚新町

3-32-4-403

TEL・FAX 03(3938)9181番

発行責任者 吉柳俊孝

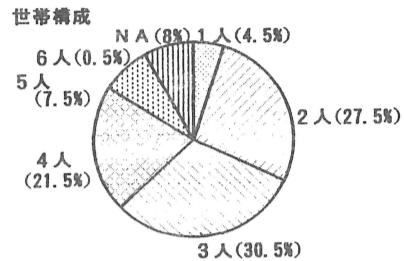
分別回収、リサイクルが高い関心 ペット飼育には様々な意見

自治会生活環境部では、自治会活動の大きな柱の一つとして、きれいな町づくりを掲げています。ここ数年は、分別の徹底やりサブル(資源回収)に力を入れてきました。

一方、騒音問題やペット問題には十分な力を割けられませんでした。そこで、団地の生活環境全般についての住民の意見を把握し、活動の方向性を探る目的で「アンケート」を実施しました。アンケートは、八月二十一日より全世帯に配布、役員の集合郵便受けで回収することとしました。九月三日に集約しましたところ、百九十六世帯から回収できました。(回収率は全体で二五%、内訳は分譲三〇%、賃貸十八%)ご協力に感謝致します。

今回は、集計結果の概要をお知らせし、次回以降に各項目に寄せられた意見をご紹介していきます。

問1 住まいの種別



問3 ごみの分別

分譲住宅	賃貸住宅	合計	人数	分譲	賃貸
一三三	六三	一九六	七	一	七
一一一	一九六	三〇七	二	二	二
一一〇	一九六	三三一	三	三	三
一一〇	一九六	三〇二	四	四	四
一一〇	一九六	二七一	五	五	五
一一〇	一九六	二七一	六	六	六
一一〇	一九六	二七一	七	七	七
一一〇	一九六	二七一	八	八	八
一一〇	一九六	二七一	九	九	九
一一〇	一九六	二七一	十	十	十
一一〇	一九六	二七一	十一	十一	十一
一一〇	一九六	二七一	十二	十二	十二
一一〇	一九六	二七一	十三	十三	十三
一一〇	一九六	二七一	十四	十四	十四
一一〇	一九六	二七一	十五	十五	十五
一一〇	一九六	二七一	十六	十六	十六
一一〇	一九六	二七一	十七	十七	十七
一一〇	一九六	二七一	十八	十八	十八
一一〇	一九六	二七一	十九	十九	十九
一一〇	一九六	二七一	二十	二十	二十
一一〇	一九六	二七一	二一	二一	二一
一一〇	一九六	二七一	二二	二二	二二
一一〇	一九六	二七一	二三	二三	二三
一一〇	一九六	二七一	二四	二四	二四
一一〇	一九六	二七一	二五	二五	二五
一一〇	一九六	二七一	二六	二六	二六
一一〇	一九六	二七一	二七	二七	二七
一一〇	一九六	二七一	二八	二八	二八
一一〇	一九六	二七一	二九	二九	二九
一一〇	一九六	二七一	三十	三十	三十
一一〇	一九六	二七一	三一	三一	三一
一一〇	一九六	二七一	三二	三二	三二
一一〇	一九六	二七一	三三	三三	三三
一一〇	一九六	二七一	三四	三四	三四
一一〇	一九六	二七一	三五	三五	三五
一一〇	一九六	二七一	三六	三六	三六
一一〇	一九六	二七一	三七	三七	三七
一一〇	一九六	二七一	三八	三八	三八
一一〇	一九六	二七一	三九	三九	三九
一一〇	一九六	二七一	四〇	四〇	四〇
一一〇	一九六	二七一	四一	四一	四一
一一〇	一九六	二七一	四二	四二	四二
一一〇	一九六	二七一	四三	四三	四三
一一〇	一九六	二七一	四四	四四	四四
一一〇	一九六	二七一	四五	四五	四五
一一〇	一九六	二七一	四六	四六	四六
一一〇	一九六	二七一	四七	四七	四七
一一〇	一九六	二七一	四八	四八	四八
一一〇	一九六	二七一	四九	四九	四九
一一〇	一九六	二七一	五〇	五〇	五〇
一一〇	一九六	二七一	五一	五一	五一
一一〇	一九六	二七一	五二	五二	五二
一一〇	一九六	二七一	五三	五三	五三
一一〇	一九六	二七一	五四	五四	五四
一一〇	一九六	二七一	五五	五五	五五
一一〇	一九六	二七一	五六	五六	五六
一一〇	一九六	二七一	五七	五七	五七
一一〇	一九六	二七一	五八	五八	五八
一一〇	一九六	二七一	五九	五九	五九
一一〇	一九六	二七一	六〇	六〇	六〇

問3 ごみの分別

ごみの分別については、関心度が高く、可燃・不燃の分別(九六%)、かん(九一%)については九〇%を超える家庭が実施、次いで、紙類の資源回収(八五%)、びん(八二%)が八〇%を超え、電池(七三%)、ペットボトル(七二%)、牛乳パック(六五%)と続きます。分譲・賃貸での違いはありませんでした。

問5 リサイクルボードの周知

関心があつた 関心はないが見ていた 知っていたが関心はない 知らなかつた

九七 三六 二五 三五

問7 騒音の被害

あり なし NA

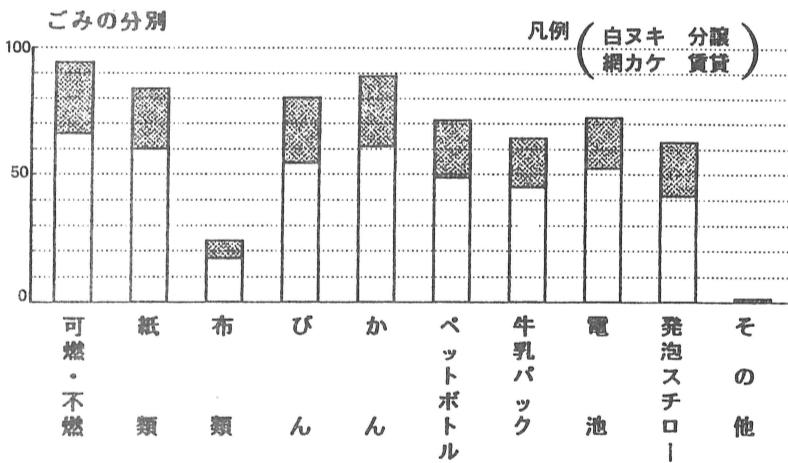
六六 六二 五

問8 騒音の内容

ほぼ半数の人が何らかの騒音被害を受けているとの回答でした。

ワーストスリーは、戸の開閉や足音などの生活音(四二件)、布団を叩いては、次号から順次紹介します。

十月一日は国勢調査です。



問19 自転車の保管場所

粗大ごみ

二六

二九

三九

十四

五

一

問20 自転車の処分

分譲

一五

一九

二六

三九

一

一

問4 (ごみの減量実践例)

6

ごみ全般

10

公共施設の騒音

13

騒音全般

16

ペット飼育

21

自転車全般

22

環境問題全般

ペット飼育は一割未満

問14 ペットの飼育状況

飼っていない

一六八

飼っていることがある

四

飼いたいと思っている

七

NA

一

二

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

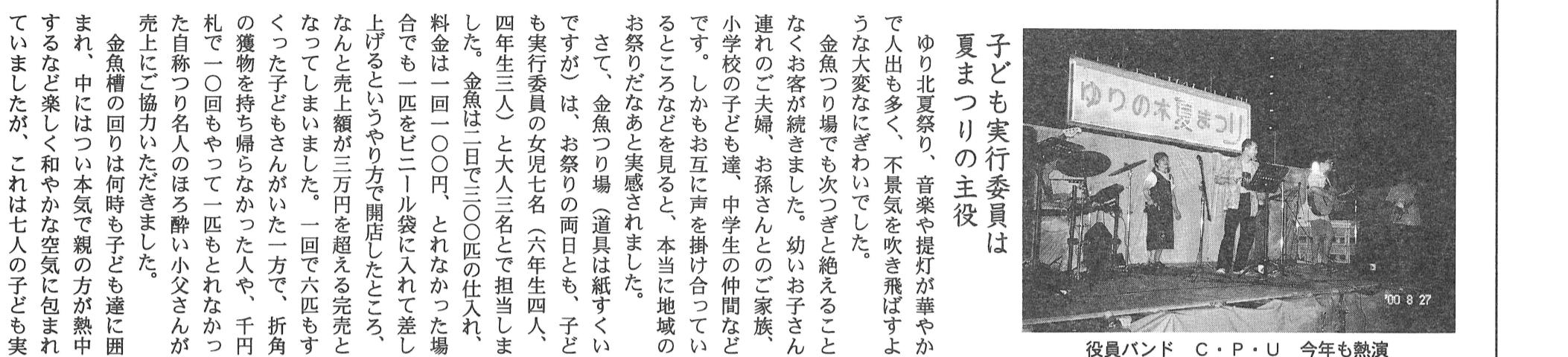
一

値づけも楽しいが一苦労

今年も、声を掛けていた人達から続々と品物が集まつてきました。一緒にする姉の部屋です。広げた品々を、これは誰々からとか、使っていたけどとか、あの時の物とか…等々。全部想いのこもつた物ばかりです。我家の一年分のリサイクル品も含め、私の方の提供品も集まりました。一つ一つ値段を相談して決めることは一苦労ですが、それも楽しい時です。さて、当日、手伝つてもらつて重い荷物を会場へ、シートを敷いて並べます。ワクワクしてきました。すでに両隣には家族が店開き、かわいい売り込みの声が聞かれます。さあ私も負けずと声を張り上げました。二日日のこと、少し遅れて会場へ入った為か、すでに一廻りしてきた人達が、待ち構えていました。そして、次々と出していく物を競つて手にし、値を聞き買つていきました。たくさんの手と物と声が、狭い空中で交差していました。並べる余裕もありませんでした。これには私も姉もびっくり。忙しく動いて一段落した後、ようやくほつと顔を見合わせました。それからは、ゆつくりとお客様との会話を楽しんだり、友人の励ましや差し入れを喜んだり、他の店へ掘り出し物を探しに行ったりしました。嬉しかった事は、私が手作りしたビーズのアクセサリーを、小さな女の子や若い子がよく買つてくれた事です。残念だった事は、服を広げる場所がなく、あまり売れませんでした。又、全体的に値は低く、いい物に高い(と言つても千円位)値をつける事が難しいというのが現状です。

希望としては、手作りの店、家族の店など、いろいろな店がもっと多くあつたらと思います。より一層の呼びかけで参加者が増え、増々盛大になつていくよう来年に期待します。

野口旬子



役員バンド C.P.U 今年も熱演

00 8 27

子ども実行委員は夏まつりの主役

さあ私も負けずと声を張り上げました。二日日のこと、少し遅れて会場へ入った為か、すでに一廻りしてきた人達が、待ち構えていました。そして、次々と出していく物を競つて手にし、値を聞き買つていきました。たくさんの手と物と声が、狭い空中で交差していました。並べる余裕もありませんでした。これには私も姉もびっくり。忙しく動いて一段落した後、ようやくほつと顔を見合わせました。それからは、ゆつくりとお客様との会話を楽しんだり、友人の励ましや差し入れを喜んだり、他の店へ掘り出し物を探しに行ったりしました。嬉しかった事は、私が手作りしたビーズのアクセサリーを、小さな女の子や若い子がよく買つてくれた事です。残念だった事は、服を広げる場

所がなく、あまり売れませんでした。又、全体的に値は低く、いい物に高い(と言つても千円位)値をつける事が難しいというのが現状です。

希望としては、手作りの店、家族の店など、いろいろな店がもっと多くあつたらと思います。より一層の呼びかけで参加者が増え、増々盛大になつていくよう来年に期待します。

感想

これだけの夏祭りの準備と実行には大変なご苦労があつたでしょう。役員の皆様に感謝致しております。

加地 幸角

心地良い汗をかきました

さて、金魚つり場(道具は紙すべり)は、お祭りの両日とも、子ども実行委員の女兒七名(六年生四人、四年生三人)と大人三名とで担当しました。金魚は一日で三〇〇匹の仕入れ、料金は一回一〇〇円、とれなかつた場合でも一匹を二ニール袋に入れて差し上げるというやり方で開店したところ、なんと売上額が三万円を超える完売となつてしましました。一回で六匹もすくつた子どもさんがいた一方で、折角の獲物を持ち帰らなかつた人や、千円札で一〇回もやつて一匹もとれなかつた自称つり名人のほろ酔い小父さんがあつたように見えました。

ゆりの木夏まつりのお手伝いは、二回目でスープーボールを担当しました。

作業は、マニアルと子供達の中に経験者がいて、その子におしえてもらひながら行いました。一日目は、ルールが徹底されていかつたり、ボールすべりのものなかが、せんたくばさみで、割れたり、つぶれたりして少し失敗もありましたが、二日目は、前日の反省がいかされていました。二日間とも暑く汗だくでのお手伝いでしたが、子供達が自分から進んで担当を決め、お客様の相手、呼びこみ・宣伝と行って、汗だくでのお手伝いでしたが、子供達が自分で状態でしかも、役員の方々に色々と気使つていただき、楽しくお手伝いする事が出来、良い時間を過ごす事が出来ました。

しかし、マニアルにもう少し詳しい

作業手順・昨年までの反省点・注意点など記入されていると、失敗もすくなくなると思います。

夏まつり決算

(1) 本部会計

収入 自治会分担金	400,000
商店会分担金	600,000
協賛金(個人157件)	316,500
協賛金(企業22件)	153,000
協賛金(出店者3件)	11,700
祝金(17件)	79,000
預金利子	103
前年度繰越金	245,289
収入計	1,805,592
支出 サウンドブレイカーズ	170,000
小野上温泉太鼓	70,000
グループ出演謝礼(5団体)	25,000
招待出演者食事代	72,400
机・椅子リース	153,300
装飾・電気配線	354,900
設営資材	17,230
スタッフTシャツ	200,000
本部事務費	33,402
来賓・設営時食事代	281,951
反省会	50,000
支出計	1,428,183
差引次年度繰越	377,409

(2) お楽しみコーナー(自治会)

収入 お楽しみコーナー売上	271,028
リサイクル広場売上	24,110
収入計	295,138
支出 お楽しみコーナー仕入	121,955
準備経費	13,561
実行委員会夕食代	66,916
ゆりの木会(謝礼)	20,000
反省会(こども実行委員会)	9,854
支出計	232,286
収益 62,852を周年事業特別会計に積立	

(3) 自治会チケット精算

発券	216,900
回収	170,170
回収率	78.46%

行委員が現場を引受け、大人委員は後方で小さくなつて見守るだけで済んだためでしよう。

彼女達の活躍振りはなかなかものでした。料金を受取り、釣銭を返し、道具を貸す、金魚と水とを袋に入れて渡す。お客様が少ない時は二・三人掛で、多い時は一対一でテキパキとさばいていました。料金の取り忘れ、釣銭の間違いなど一つも無く、そのかいがいしさは、多分お母さんを見習つてのものでしよう。通行の同級生や顔知りへの呼びかけ、金魚が残り少なくなりへ呼べました。金魚つり場でも次つぎと絶えることなくお客様が続きました。幼いお子さん連れのご夫婦、お孫さんとのご家族、小学生の子ども達、中学生の仲間などで人出も多く、不景気を吹き飛ばすようなく大変なにぎわいでした。

魚すくいはやつてない?と聞かれました。

「終わりました」と返事する

と、「エッ!もう終わつたの!」

ととても残念そうでした。大人だけで、

魚すくいはやつてない?と聞かれました。

「終わりました」と返事する

と、「エッ!もう終わつたの!」



My enjoyments

赤ん坊と仲良く
ゴルフコンペ

七月三十日から板橋区立八ヶ岳荘に二泊三日で、青健の八ヶ岳キャンプに行つてきました。周りを散策する、ネーチャービング大会、立場川へハイキング、ますつかみ、すいかを焼いたり、じゃがいも煮をしたりしました。夜は、キャンプファイアやナイトウォークなど楽しみました。

総勢九十二名、赤塚新町小からは、男七名、女十二名の参加でした。小学四年から中学三年の七十三名を指導員八名、事務局四名、ジュニアリーダー七名での引率は、結構つらいつらいものが、ありました。障害児学級の子が一人はいっていたのも原因の一つですが、遊軍がないため、眼の行き届かないことが、まま、ありました。

行つてすぐ、大きな窓に虫のとまつたのを、つぶそうとして飛び切りをして、ガラスを割つたり。夜中にプロレスごっこをして、戸に指をはけが人は、六名。

ここでも、地蜂の巣をつかんでしまつた二人が蜂に刺されたのですが、子供たちでなく、不幸中の幸いでし。また、子供たちは、スリルがあつておもしろかったと言つてました。が、ほんとに何事もなく無事帰還でした。

台風十二号が日本海側に抜けた後の湿った太洋高気圧に覆われた蒸し暑い日の九月一日、女性二人を含む二組で夏期コンペを大宮国際ゴルフ場で行いました。

本当に暑い日でしたが、グリーン上を赤とんぼが乱舞する中参加の皆さんはめげずにラウンドしました。自己最高のスコアでおいしいビールを飲んだ人、未知の世界に飛び込んで自棄に飲んだ人など、それぞれのゴルフをエンジョイしました。減茶暑いのに加えてエネルギー多消費型ゴルフで後段の人間になつたのが私でした。

団地に帰つてからの二次会パーティーは盛りあがり、次はもっと沢山の参加ができるよう企画は、ほかの遊びや趣味などでユリ北の

さるもの、(彼は病院に行きました。)花火を振り回して顔に火傷を負うもの、崖で捻挫、崖で蜂に刺されたもの二名(ジュニアリーダーと青少年委員)など。

夜にいじめにあい、実行委員の部屋に避難した子が一人いました。

川へのハイキングの帰り、先頭が道を間違え、最後尾の私が分かれ道にきた時点で先頭との連絡がつかず、私が先頭までいつたら、もう戻ることもできない状態で、三八度の足場のない急斜面を木の根につかまつたジュニアリーダーや実行委員で、子供たちを引きずり上げました。

どうしても上がれない、女の子五人はロープをつかつて引きずり上げた次第です。

ここで、地蜂の巣をつかんでしまつた二人が蜂に刺されたのですが、子供たちでなく、不幸中の幸いでし。また、子供たちは、スリルがあつておもしろかったと言つてました。が、ほんとに何事もなく無事帰還でした。

梅雨明けの猛暑の中、みなバテバ

テになりながら頑張りました。園児

ゆかた姿がカワイらしい夕涼み会



ゆかた姿がカワイらしい夕涼み会

さるもの、(彼は病院に行きました。)花火を振り回して顔に火傷を負うもの、崖で捻挫、崖で蜂に刺されたもの二名(ジュニアリーダーと青少年委員)など。

夜にいじめにあい、実行委員の部屋に避難した子が一人いました。川へのハイキングの帰り、先頭が道を間違え、最後尾の私が分かれ道にきた時点で先頭との連絡がつかず、私が先頭までいつたら、もう戻ることもできない状態で、三八度の足場のない急斜面を木の根につかまつたジュニアリーダーや実行委員で、子供たちを引きずり上げました。

どうしても上がれない、女の子五人はロープをつかつて引きずり上げた次第です。

梅雨明けの猛暑の中、みなバテバ

テになりながら頑張りました。園児

ゆかた姿がカワイらしい夕涼み会

さるもの、(彼は病院に行きました。)花火を振り回して顔に火傷を負うもの、崖で捻挫、崖で蜂に刺されたもの二名(ジュニアリーダーと青少年委員)など。

夜にいじめにあい、実行委員の部屋に避難した子が一人いました。川へのハイキングの帰り、先頭が道を間違え、最後尾の私が分かれ道にきた時点で先頭との連絡がつかず、私が先頭までいつたら、もう戻ることもできない状態で、三八度の足場のない急斜面を木の根につかまつたジュニアリーダーや実行委員で、子供たちを引きずり上げました。

どうしても上がれない、女の子五人はロープをつかつて引きずり上げた次第です。

梅雨明けの猛暑の中、みなバテバ

テになりながら頑張りました。園児

ゆかた姿がカワイらしい夕涼み会

ちびっこ集まれ

キヤツチボールしよう

野球サークル・ゆりの木ノースレ

ンジャーZが結成されて二年、熱心に活動を続けています。ここから少年野球チームを作ろうという話が出てきました。グランドの確保など難問もありますが、当面は子ども達とキッズボールで遊ぶことから始めます。対象は小学生、活動日や会費などは未定です。

将来的には、正式な少年野球チームとして活動し、青健の少年野球にも出場したいと思っています。対象は小学生、活動日や会費などは未定です。

本当に暑い日でしたが、グリーン上を赤とんぼが乱舞する中参加の皆さんはめげずにラウンドしました。自己最高のスコアでおいしいビールを飲んだ人、未知の世界に飛び込んで自棄に飲んだ人など、それぞれのゴルフをエンジョイしました。減茶暑いのに加えてエネルギー多消費型ゴルフで後段の人間になつたのが私でした。

団地に帰つてからの二次会パーティーは盛りあがり、次はもっと沢山の参加ができるよう企画は、ほかの遊びや趣味などでユリ北の

さるもの、(彼は病院に行きました。)花火を振り回して顔に火傷を負うもの、崖で捻挫、崖で蜂に刺されたもの二名(ジュニアリーダーと青少年委員)など。

夜にいじめにあい、実行委員の部屋に避難した子が一人いました。

川へのハイキングの帰り、先頭が

道を間違え、最後尾の私が分かれ道にきた時点で先頭との連絡がつかず、私が先頭までいつたら、もう戻ることもできない状態で、三八度の足場のない急斜面を木の根につかまつたジュニアリーダーや実行委員で、子供たちを引きずり上げました。

どうしても上がれない、女の子五人

はロープをつかつて引きずり上げた次第です。

梅雨明けの猛暑の中、みなバテバ

テになりながら頑張りました。園児

ゆかた姿がカワイらしい夕涼み会

さるもの、(彼は病院に行きました。)花火を振り回して顔に火傷を負うもの、崖で捻挫、崖で蜂に刺されたもの二名(ジュニアリーダーと青少年委員)など。

夜にいじめにあい、実行委員の部屋に避難した子が一人いました。

川へのハイキングの帰り、先頭が

道を間違え、最後尾の私が分かれ道にきた時点で先頭との連絡がつかず、私が先頭までいつたら、もう戻ることもできない状態で、三八度の足場のない急斜面を木の根につかまつたジュニアリーダーや実行委員で、子供たちを引きずり上げました。

どうしても上がれない、女の子五人

はロープをつかつて引きずり上げた次第です。

梅雨明けの猛暑の中、みなバテバ

テになりました。

川へのハイキングの帰り、先頭が

道を間違え、最後尾の私が分かれ道にきた時点で先頭との連絡がつかず、私が先頭までいつたら、もう戻ることもできない状態で、三八度の足場のない急斜面を木の根につかまつたジュニアリーダーや実行委員で、子供たちを引きずり上げました。

どうしても上がれない、女の子五人

はロープをつかつて引きずり上げた次第です。